

エネルギー効率の一層の改善等

省エネ設備・機器の導入促進等

既存技術の普及

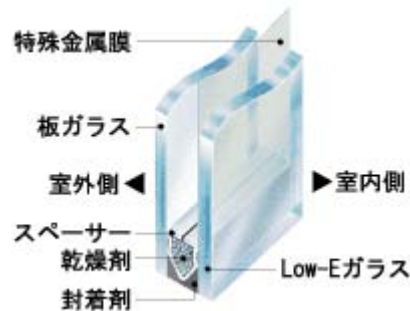
例えば、

ヒートポンプ

エコキュート(家庭用CO₂冷媒ヒートポンプ式給湯器)



高断熱複層ガラス



出所: (財)省エネルギーセンターHPより

LED(発光ダイオード)



LED信号機

卓上ライト



省エネ家電



省エネ型エアコン

省エネ型冷蔵庫

新技術の開発

例えば、



次世代環境航空機

: 燃費20%改善を目指す

バイオマス等の新エネルギー利用の推進

新エネ設備の導入促進

太陽光発電

太陽光発電システム(住宅用)



燃料電池

燃料電池車



燃料電池



例えば、

バイオエタノール



<宮古島「バイオエタノール・アイランド」構想>

アジアや世界への環境・エネルギー技術の展開等

基盤となるパートナーシップとネットワーク

アジア太平洋地域における様々なレベルにおける環境パートナーシップの推進

行政レベル

東アジアサミット
アジア太平洋環境会議(エコアジア)
日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)
ASEAN+3環境大臣会合
アジア太平洋パートナーシップ(APP)
アジア3R推進会議
アジア森林パートナーシップ(AFP) 等

有識者会合

アジア太平洋環境開発フォーラム
(APFED)

研究者レベル

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)
アジア太平洋廃棄物管理専門家会議

様々な具体的課題に対するネットワークの構築

国境を越える環境汚染への対応

海洋汚染

北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)

酸性雨

東アジア酸性雨モニタリング
ネットワーク(EANET)



モンゴル(テレルジ)



日本(利尻)



ベトナム(ホアビン)



マレーシア(タナラタ)

アジア諸国内の環境汚染対策を支援

交通公害

環境的に持続可能な交通(EST)

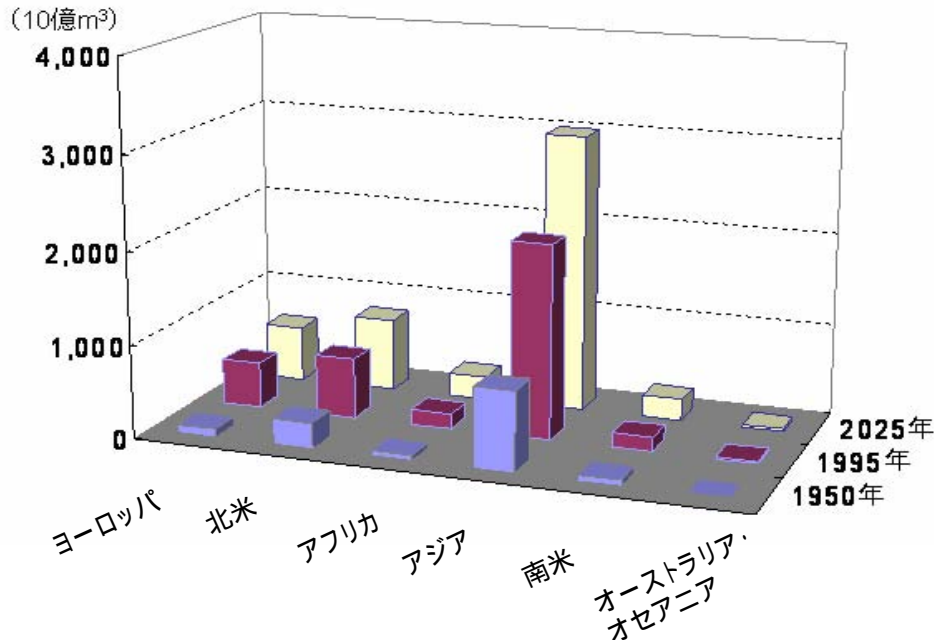
水環境管理

アジア水環境パートナーシップ

世界の水問題の解決に向けた国際的取組(その1)

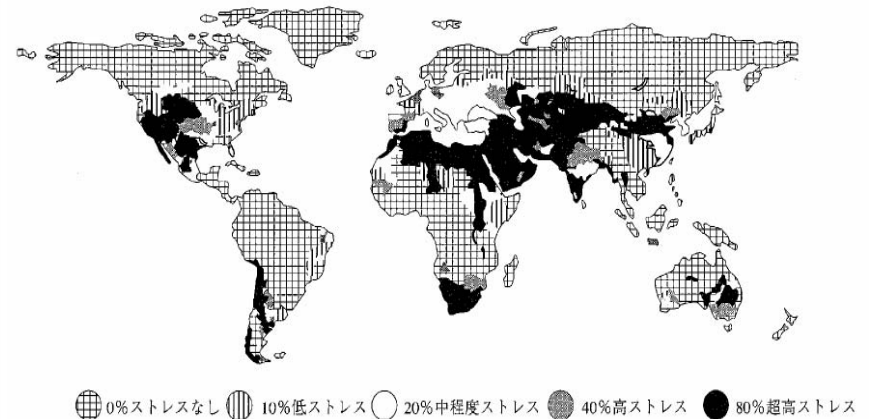
- 1950年から1995年までの45年間で、世界の水消費量は約2.6倍に増加しています。
- アフリカ、アジア、ラテンアメリカの大半を含めた世界の60%以上の地域で取水量の増加が予想されています。2025年までに約40億人が高い水ストレスを被るなど、より深刻な水危機の到来が懸念されます。

世界の地域別水使用量と水需要量の将来見通し



出典: Assessment of Water Resources and Water Availability in the World, WMOより作成

現状維持シナリオにおける2025年の世界の水ストレス



水ストレスは一般に一人あたりの利用可能な水資源が、1,700m³ (人が生活するにあたり必要な水需要とされる)を下回る地域に居住する人口を指すが、ここでは再生可能資源の40%以上を人間活動のために利用する必要がある地域と定義している。

出典: 世界水会議(2000)「世界水ビジョン」をもとにした農林水産省資料